



森林ボランティア

「オホーツクの会」だより NO. 28

秋の森林散策



秋の一日

藤樫 ヨウコ

十月五日、森林散策チミケップ湖と云うことで参加しました。昨日は雨でしたが嘘の様に晴天に恵まれました。「おはようございます。今日は行楽日和ですね」と云う挨拶を交わされ、バスに乗りました。一台のバスは補助椅子を使うほどでした。

道々は、もう秋の収穫が終わっているものもあり、畑は美しい田園風景と変わっていました。北海道の農業は夏が短い分、一生懸命心を込めて作っているの、何を食べてもおいしく安心安全と思っています。

目的地に着き、開会式をすませ各班に分かれ、ボランティアガイドからの、

木々、草花、キノコなど説明を聞きながら、自然の生命力の逞しさ、強さ、共存共栄と云うことを実感させられました。カエデの葉一枚にも色々な特徴があり個性を発揮していることを・・・知識があるかないかで、見方感心度が変わってくることを教わりました。青空に映えた紅葉が一段と美しかったです。ほんとうに楽しい一日ありがとうございました。



黒沢 美紀

チミケツプ湖の森林散策会に参加させて頂き大変有意義な時間を過ごすことができました事 森林ボランティア「オホーツクの会」の皆様方には大変感謝しております。

鏡のように澄み切ったチミケツプ湖に迎えられ ため息がもれる美しさに目を奪われました。ガイドの先生はとても自然に対する思いが深くその知識にも感銘を受けました。

教えて頂いた樹木や葉っぱの見分け方を習得するにはまだまだ時間がかかると思いますが、今後も森林散策会に参加させて頂き覚えていきたいと思えます。

楽しい時間をありがとうございました。



竹田 吉輝

子供時代、牧野富太郎の図鑑に親しんだ。だから今でも植物には関心がある。
今回のグループでの森の散策は滅多にない貴重な時間であった。
今後も四季それぞれで散策を企画してほしいです。
出来るだけ参加したいと思います。



匿名

先日、チミケップ散策に参加させていただきました。
行ってみたいとは思っていたものの、クマや迷いそうなのが不安で、気軽には行けないと半ば諦めていたところでした。
そんな時ちょうど案内を見て、絶対行きたい！と思いました。
結果、やはり参加してみてよかったです。
紅葉が青い空に映え、湖面に風景が映って、とてもきれいでした。
落ち葉の感触を楽しみながら、鳥の声に耳を澄ませました。
桂の匂いもフワッと漂ってきて、山ぶどうなども味わえました。
五感が満足しましたし、ほどよく疲れ、その日はよく寝れました。
そして、ボランティアでガイドをしてくれた方々の豊富な知識・見識に触れ、
大変勉強になりましたし、ほんとうに楽しい一日をおくることができました。
ありがとうございました！
また機会がありましたら、ぜひ参加したいです。



チミケップ散策に参加して

廣瀬 英雄

ガイドの、多からず少なからずの適切な解説付きの楽しい散策でした。中でも次の三点が印象に残りました。

- (1) 自然界の生物は「生産するもの」「消費するもの」「分解するもの」に分けられる。
- (2) 樹木のキツツキの孔は、樹木にとって、キツツキに虫歯を治療をしてもらっているという見方もでき、一概に悪いことだけではない。
- (3) 根が上がっている樹木は、倒木更新中に倒木が完全に、朽ちてしまったために、このような姿になったと実物を見ながら説明を受け納得した。



チミケップ湖畔の散策

中野 慎一

初秋の湖畔は快晴無風でかなり冷え込んでいて、薄手のダウンジャケットを着て手袋をはめて歩きました。駐車場でバスから降り、キャンプ場にて湖を観ると湖面が鏡のようになって対岸の紅葉し始めた森がくっきりと映りとても美しいけしきでした。

6人ずつのグループになりガイドさんに付いて、落ち葉が積み重なって絨毯を敷いた様になった遊歩道を歩きました。小グループなので所々でしてくれる説明は良く聞こえ採取した木の実や葉もよく見えました。私達の質問にも丁寧に答えてもらい楽しい観察会でした。紅葉の仕組みや樹木の枝ぶり、葉の特徴、倒木更新の状態等も観察することも出来て有意義な一日でした。途中クマさんのお土産にも出会いドキッと森の奥まで来ていることを実感しました。ガイドや関係者の皆さまどうも有り難うございました



はじめて参加した印象・感想

匿名

晴れた秋の森林浴 古木と幼木 草花は陽の譲りにあい
参加者の見聞は命に優しい 共生ということか 自然の風景が厭しい



チミケップ湖散策会

ガイド

吉田 正

散策当日は天候に恵まれました。到着時点で風もなく湖面は紅葉の森を写していた。

各班に分かれ出発、日陰で少し肌寒い、歩けば体も温かく成る。

今回初めてガイドとして大山さんが加わっていただき、キノコの植生を教えてください、ガイドの知識を広げることが出来ました。

参加された方々も、紅葉の美しさを堪能され、主催に関わった者として楽しく、心地よい散策になりました。

特に滝近くのハウチワカエデ、ヤマモミジ、蝦夷山桜、ヤマブドウ、の赤色が見ごとでした。

こんな近場に、絶好の光景が有る北見市は素晴らしい環境と再確認させられました。

怪我もなく終了出来、参加された方々、主催に関わった面々にお礼申し上げます。

散策を通じ、環境保護を継続出来る組織であるように頑張ります。



森においでよパネル展 作って遊ぼう

北見市緑のセンターで10月4日から10月13日、常呂川森林ふれあい推進センターと森林ボランティア「オホーツクの会」共催によるパネル展が開催されました。

展示は当会の活動目的の紹介、活動や北見周辺植物、キノコやヒグマの真新しい足跡の写真などを紹介しました。その他に木の枝や葉などで作った作品を展示しました。

また、今年は山の幸が豊作であったことからヤマブドウやコクワの実なども展示され“昔はよく食べたよ”などと懐かしい声も聞かれました。

なお11～13日は来場者に竹トンボや樹皮のフクロウ作り、緑ヶ丘森林公園を巡るミニ森林散策などが行われ親子が楽しんでいました。

期間中の平日は植村さんが担当するなど、多くの方々の協力で無事終わることができました。



新常呂川森林ふれあい推進センター所長挨拶

皆様いつも大変お世話になってます。

10月1日に菊地所長からバトンタッチしました白藤末人（しらとうすえと）と申します。

10月に緑のセンターで行われた活動パネル展、2月22日に呼人半島で行われた冬の森林散策等でお目にかかった会員の方もいらっしゃいますが、あらためてオホーツクの会の皆様に日頃のふれあいセンターへのご支援に対して御礼申し上げます。

平成26年度も僅かとなりましたが、次年度におきましても会とセンターの行事につきましては、緊密な連携を持ってそれぞれの行事を盛り上げて参りたいと思っていますので、何とぞご協力のほど宜しくお願い致します。



（平成27年1月23日浜佐呂間小学校の森林教室にて）

平成26年度ほつかいどう地球温暖化防止貢献の森林づくりコンクールにおいて森林ボランティア「オホーツクの会」が奨励賞を受賞しました。





総会

日時 平成27年3月15日(日) 10時～12時
場所 常呂川森林ふれあい推進センターの2階会議室
内容 平成26年度の活動報告
平成27年度の活動計画等



森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
平日8:30～12:00 TEL 0157-23-2960
13:00～17:15 FAX 0157-26-2144

キノコいろいろ

